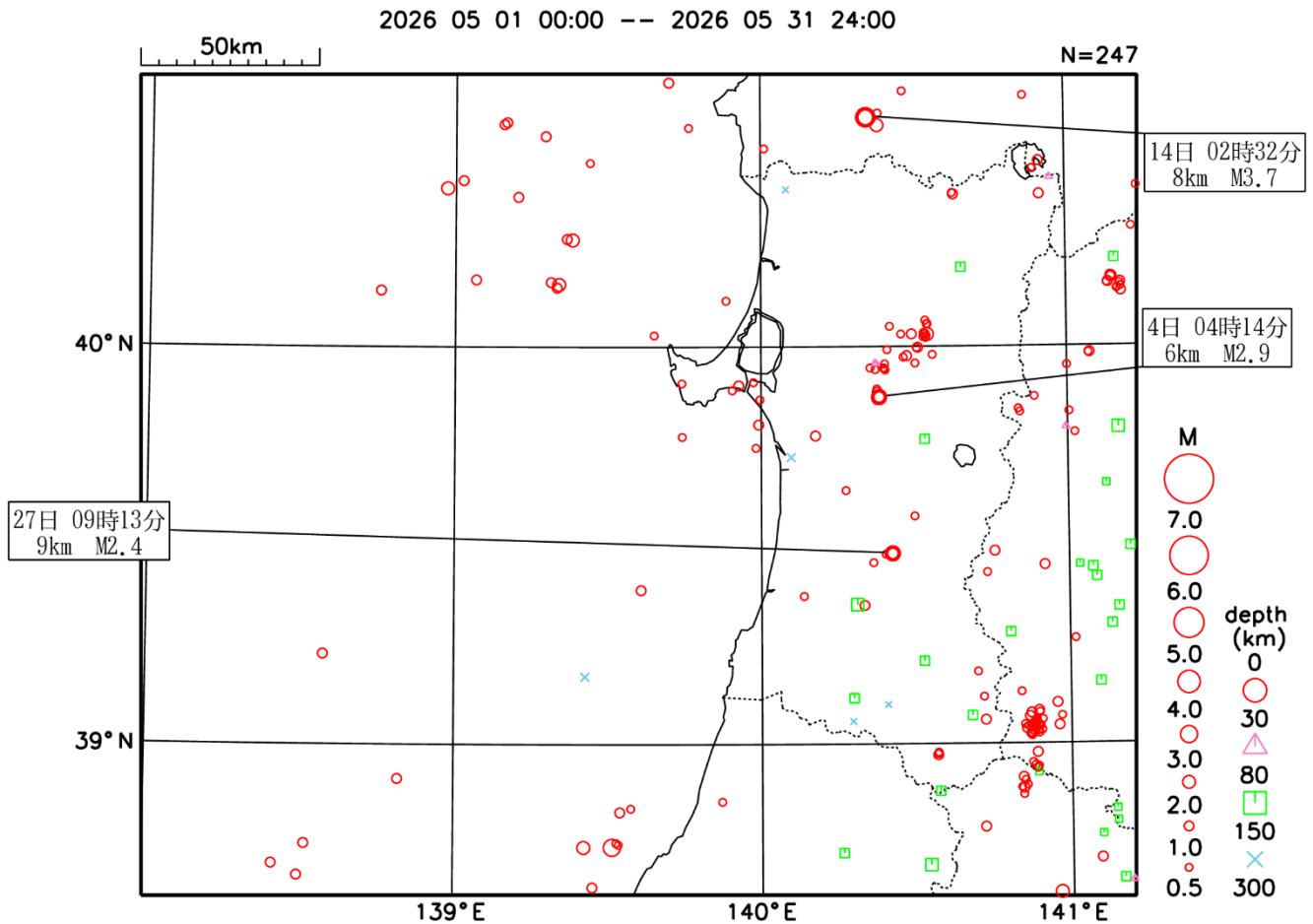


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2026年5月

【震央分布図】



〈5月の地震概況〉

この期間、秋田県内で震度1以上を観測した地震は8回（4月：15回）で、図の範囲内を震源とする地震が3回、図の範囲外を震源とする地震が5回であった。

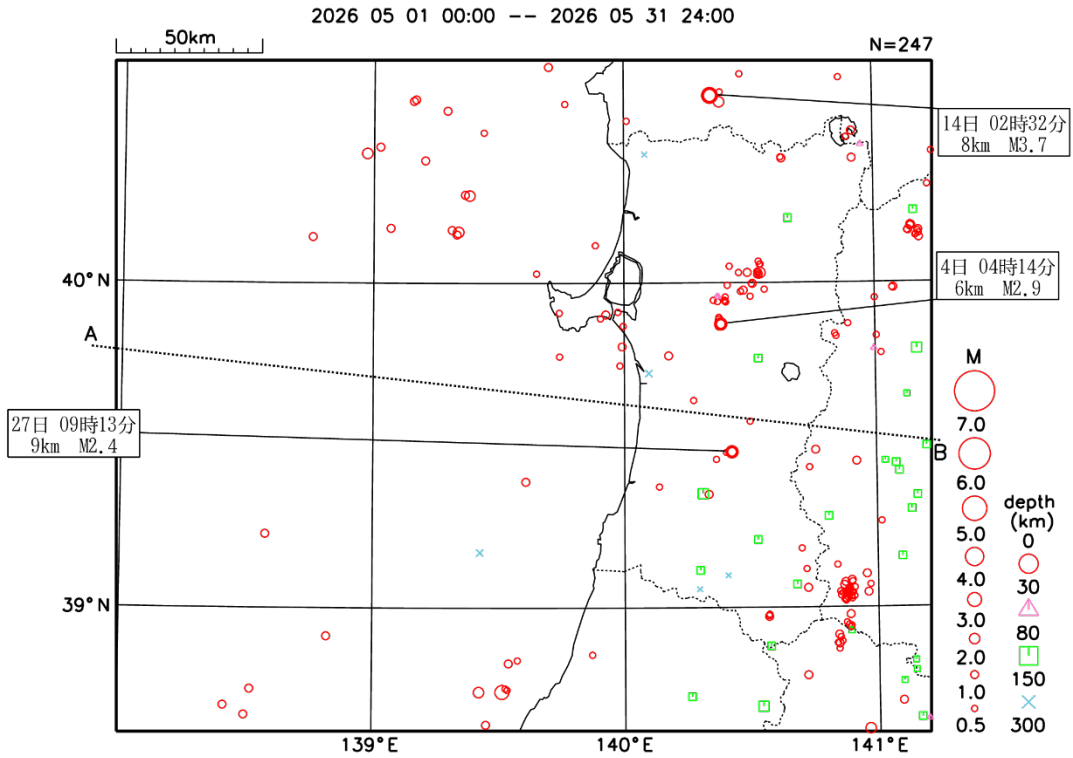
4日04時14分に秋田県内陸北部の深さ6kmでM2.9の地震が発生し、仙北市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

14日02時32分に青森県津軽南部の深さ8kmでM3.7の地震が発生し、青森県で震度3から1を観測したほか、秋田県で震度1を観測した。県内では、能代市、鹿角市、小坂町で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

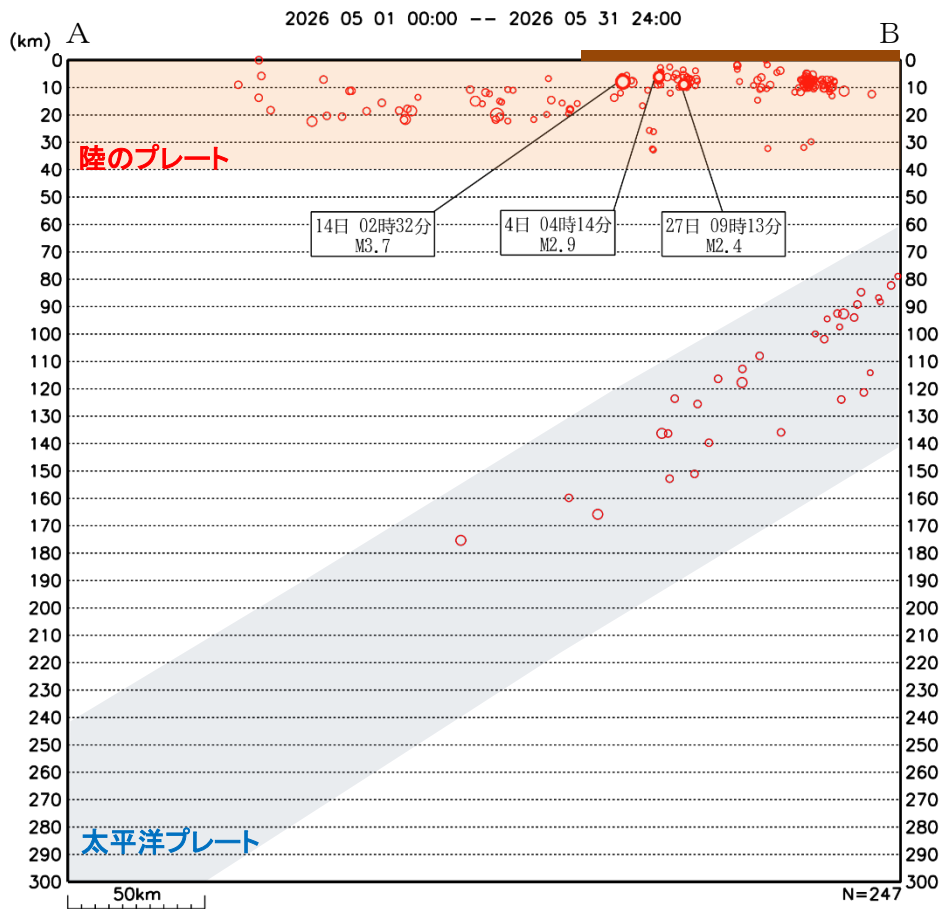
15日20時22分に宮城県沖（図の範囲外）の深さ46kmでM6.4の地震が発生し、宮城県で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4から1を観測した。県内では、八郎潟町、井川町、秋田市、由利本荘市、横手市、大仙市で震度3を観測したほか、全域で震度2から1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、秋田県内陸南部で長周期地震動階級1を観測した。

27日09時13分に秋田県内陸南部の深さ9kmでM2.4の地震が発生し、大仙市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2026年5月1日～2026年5月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2026年05月04日04時14分	秋田県内陸北部	39° 52.3' N	140° 23.1' E	6km	M2.9
秋田県	震度 1 : 仙北市西木町上桧木内*				
2026年05月05日08時54分	三陸沖	39° 53.6' N	143° 04.8' E	17km	M5.4
秋田県	震度 1 : 能代市二ツ井町上台* 井川町北川尻* 三種町森岳* 秋田市雄和新波* 由利本荘市西目町沼田* 由利本荘市前郷* 大館市桜町* 大館市比内町扇田* 大館市早口* 鹿角市花輪* 小坂町小坂砂森* 北秋田市花園町 北秋田市新田目* 横手市雄物川町今宿 横手市中央町* 横手市大雄* 横手市山内土淵* 羽後町西馬音内* 秋田美郷町六郷東根 秋田美郷町土崎* 大仙市刈和野* 大仙市北長野* 大仙市大曲花園町* 大仙市高梨* 仙北市田沢湖生保内上清水*				
2026年05月14日02時32分	青森県津軽南部	40° 34.6' N	140° 20.8' E	8km	M3.7
秋田県	震度 1 : 能代市常盤山谷 能代市追分町* 鹿角市花輪* 小坂町小坂砂森*				
2026年05月14日05時01分	岩手県内陸北部	39° 50.2' N	141° 25.5' E	12km	M4.8
秋田県	震度 2 : 能代市上町* 能代市二ツ井町上台* 三種町森岳* 秋田市雄和新波* 由利本荘市前郷* 大館市比内町味噌内 大館市桜町* 大館市比内町扇田* 大館市早口* 鹿角市花輪* 小坂町小坂砂森* 北秋田市花園町 北秋田市新田目* 震度 1 : 能代市緑町 能代市常盤山谷 能代市追分町* 藤里町藤琴* 井川町北川尻* 三種町鶴川* 秋田市雄和女米木 秋田市河辺和田* 由利本荘市石脇 由利本荘市鳥海町伏見* 由利本荘市岩城内道川* 由利本荘市東由利老方* 由利本荘市矢島町矢島町* 由利本荘市岩谷町* にかほ市平沢* にかほ市象潟町浜ノ田* 北秋田市米内沢* 横手市雄物川町今宿 横手市大森町* 横手市大雄* 湯沢市沖鶴 湯沢市寺沢* 羽後町西馬音内* 大仙市刈和野* 大仙市北長野* 大仙市大曲花園町* 大仙市高梨* 仙北市西木町上桧木内* 仙北市田沢湖生保内上清水* 仙北市角館町小勝田* 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*				
2026年05月15日20時22分	宮城県沖	38° 54.2' N	142° 05.8' E	46km	M6.4
秋田県	震度 3 : 八郎潟町大道* 井川町北川尻* 秋田市河辺和田* 秋田市雄和新波* 由利本荘市西目町沼田* 由利本荘市前郷* 横手市大雄* 大仙市刈和野* 大仙市北長野* 大仙市大曲花園町* 大仙市高梨* 震度 2 : 能代市緑町 能代市常盤山谷 能代市追分町* 能代市上町* 能代市二ツ井町上台* 男鹿市船川* 男鹿市角間崎* 藤里町藤琴* 五城目町西磯ノ目 大瀧村中央* 瀧上市昭和大久保* 瀧上市飯田川下虻川* 瀧上市天王* 三種町鶴川* 三種町鹿渡* 三種町森岳* 秋田市山王 秋田市雄和女米木 由利本荘市石脇 由利本荘市桜小路* 由利本荘市鳥海町伏見* 由利本荘市岩城内道川* 由利本荘市東由利老方* 由利本荘市矢島町矢島町* 由利本荘市岩谷町* にかほ市平沢* にかほ市金浦* にかほ市象潟町浜ノ田* 大館市桜町* 大館市比内町扇田* 大館市早口* 鹿角市花輪* 上小阿仁村小沢田* 北秋田市花園町 北秋田市米内沢* 北秋田市新田目* 横手市雄物川町今宿 横手市安田柳堤地内* 横手市中央町* 横手市増田町増田* 横手市大森町* 横手市山内土淵* 横手市平鹿町浅舞* 横手市十文字町* 湯沢市沖鶴 湯沢市寺沢* 湯沢市川連町* 湯沢市佐竹町* 湯沢市横堀* 湯沢市皆瀬* 羽後町西馬音内* 東成瀬村椿川* 東成瀬村田子内* 秋田美郷町六郷東根 秋田美郷町土崎* 大仙市協和境唐松岳* 大仙市南外* 大仙市太田町太田* 大仙市神宮寺* 仙北市角館町中菅沢 仙北市西木町上桧木内* 仙北市田沢湖生保内上清水* 仙北市角館町小勝田* 仙北市田沢湖田沢* 仙北市田沢湖生保内宮ノ後* 仙北市西木町上荒井* 震度 1 : 男鹿市男鹿中 三種町ことおか中央公園* 八峰町峰浜目名瀧* 大館市比内町味噌内 小坂町小坂砂森* 北秋田市阿仁水無*				
2026年05月17日09時07分	三陸沖	39° 53.6' N	143° 03.5' E	16km	M4.9
秋田県	震度 1 : 横手市大雄* 大仙市刈和野* 大仙市高梨*				

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2026年05月25日17時14分	岩手県沖	40° 08.0' N	142° 23.3' E	40km	M4.7
秋田県	震度 1 : 北秋田市新田目*				
2026年05月27日09時13分	秋田県内陸南部	39° 28.7' N	140° 25.5' E	9km	M2.4
秋田県	震度 1 : 大仙市神宮寺*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

地震発生後は「土砂災害」にも警戒を

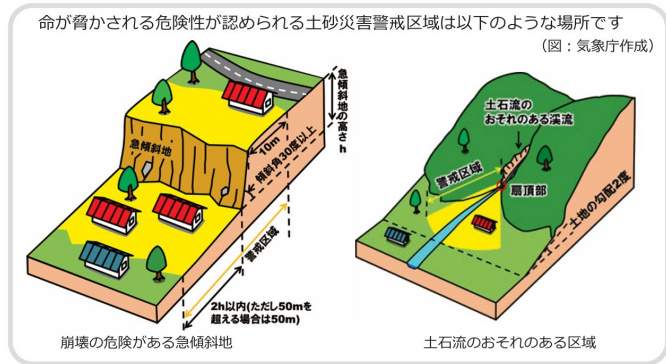
地震が発生したときは、揺れによる家屋やブロック塀などの倒壊だけでなく、落石やがけ崩れ、地すべりなどの土砂災害にも警戒が必要です。特に、山間部の比較的浅い場所で発生した規模の大きな地震では、土砂災害による被害が大きくなります。

大きな被害をもたらす土砂災害への警戒は、地震発生時だけでなく地震発生後もしばらくの間は必要となります。なぜなら、地震の強い揺れにより、地盤が緩み、普段よりも土砂災害の危険性が高まっていると考えられるからです。

そのため、気象庁は揺れの強かった地域の土砂災害に関する警報等の発表基準を引き下げて運用します。

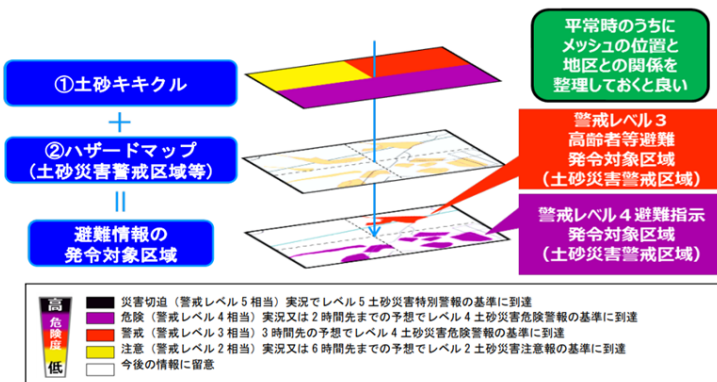
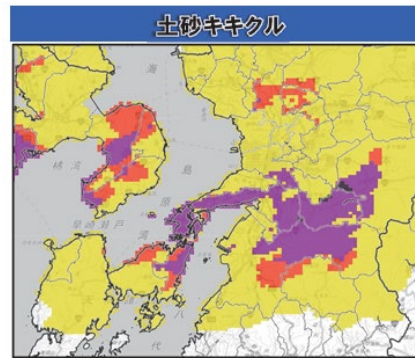
揺れの強かった地域では、**少ない雨でも土砂災害が発生する可能性があります**ので、防災情報・避難情報を取得できるスマートフォンやラジオなどを手元に置くなど、いつも以上に地震や大雨に備えるようにしてください。

なお、崩壊の危険がある急傾斜地の周辺や土石流の危険がある溪流の下流など、土砂災害のおそれがある箇所は土砂災害警戒区域等に指定されています。お住まいの場所が**土砂災害警戒区域等に指定されていないか、あらかじめハザードマップなどでご確認ください**。



また、気象庁の発表する防災情報の中に、大雨による土砂災害発生危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域(メッシュ)ごとに5段階に色分けして示す情報として**土砂キキクル**があります。

土砂キキクルは、常時10分毎に更新しており、レベル3土砂災害警報^{*}やレベル4土砂災害危険警報^{*}等が発表されたときには、**どこで危険度が高まっているかを把握することができます**。さらに「災害切迫」(黒)が出現した場合、土砂災害警戒区域等では、命に危険が及ぶような土砂災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となります。このため、避難にかかる時間を考慮して、60分雨量及び土壌雨量指数の最大6時間先までの予測値を用いて「危険」(紫)、「警戒」(赤)、「注意」(黄)、「今後の情報等に留意」(無色)の危険度を表示しています。



「危険」(紫)、「警戒」(赤)、「注意」(黄)、「今後の情報等に留意」(無色)の危険度を表示しています。

土砂災害警戒区域等にお住まいの方々は、可能な限り早めの避難を心がけていただき、高齢者等の方は遅くとも「警戒」(赤)が出現した時点で、一般の方は遅くとも「危険」(紫)が出現した時点で、速やかに危険な場所からの避難を開始することが重要です。

内閣府の「避難情報に関するガイドライン」では「土砂災害において危険度が高まっているメッシュと重なった土砂災害警戒区域等に避難情報を発令することを基本とする」とされています。

市町村から発令される避難情報にも留意し、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

^{*}レベル3土砂災害警報やレベル4土砂災害危険警報等の解説

気象庁HP「新たな防災気象情報について」 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/keiho-update2026/index.html>

出典：

気象庁リーフレット「キキクル」 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kikenndobunpu/kikikuru202603.pdf>

気象庁HP 土砂災害に関する防災気象情報の活用 https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/ame_chuui/ame_chuui_p8-1.html